



土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」

アンケートのまとめ

第3期 多治見の現代陶芸家になろう (7/6)

①内容について

a.リサ・ラーソン展

・リサ・ラーソン展がおもしろかったです。いろいろな顔や動物がたくさんあって、それぞれ顔や形も全く違いました。この世に1つしかなきような物だと感じました。(小5)

b.バックヤード

・トラックが入る所が大きくてびっくりしました。エレベーターもマンションにあるものより倍以上大きくてびっくりしました。(小3)
 ・この講座を受ける前から、この日をとても楽しみにしていました。現代陶芸美術館は素敵な所なので、子どもたちが多治見の誇りとして美術館に足を運んでくれたらうれしいです。(小3保護者)

c.絵付け(転写)体験

・転写が、うまくできるか不安でした。あまり上手にできなかつたけど、とても楽しかったです。教えてくれる人たちが「上手だよ」「かわいい」「バランスがいいね」などとほめてくれてうれしかったです。(小5)



②ふれあい

・1年生なので途中で飽きてしまわないか心配でしたが「楽しくてあつという間に時間が過ぎた」と話してくれました。よかったです。(小1保護者)



・「ボランティアの方や講師の方、大人の方たちに非常によくしていただいた」と聞いております。日頃は落ち着きがない点もあり、心配していましたが本人はとても楽しかったようで安心しました。

(小3保護者)

③全体のまとめ

・普段見ることができない物の見学や、集中しながらやる細かい作業など、土曜学習でなくては経験できないことがたくさんあります。とてもよい機会になっています。多治見の魅力が伝わってきてよかったです。ありがとうございました。(中1)



第4期 チャレンジスポーツ in 多治見 (8/17)

Q 多治見がもっとよくなるといいと思いませんか？

A 思った 93% B 思わない 7%

理由

- ・有名な人がいると多治見市をよく知ってもらえるからもっと有名な人が増えるといい。
- ・自分のふるさとだから。
- ・みんながバスケットボールを好きになるといい。学校にバスケットゴールがあるといい。
- ・講座で優しく教えてくださりとてもすごい選手たちがやってもっとこういう人が増えるといいな。
- ・スポーツのイベントがより多くあるといい。
- ・スポーツがもっと盛り上がる町になると活気が出ると思う。
- ・他の学校の子とスポーツを通して仲よくなれた。

①ふれあう会

・この講座に来てよかったです。わけは質問の答えが聞けてすっきりし、楽しかったからです。他にもいろいろな質問もあり「そうなんだ!」と思えた時もある面白かったです。ありがとうございました。(小4)



②バスケットボール体験



・一番楽しかったのは、試合です。選手たちがコートから端までパスをしていたので「すごいな」と思いました。

(小4)

・息子の夢は、バスケット選手になることです。「こんな大人になりたい」「かっこよくなりしたい」と目標があることは本当に素敵です。憧れの選手と試合ができた経験は宝だと思います。このような機会をありがとうございました。(小3の保護者)

③ふれあい

・中学生ボランティアさんの働きを見てありがたいこととだと思いました。とても楽しかったようです。ありがとうございました。

(小1保護者)



④まとめ

・土曜学習に初めて行くことができ、楽しそうにしていました。思いきり体を動かすことがない暑い夏でしたが、有意義に過ごすことができ、ありがたい体験でした。中学生・サポートスタッフ・関係の方々ありがとうございました。(小4保護者)

第5期 やきものの未来を知ってみよう (9/14)

まとめ

- ・今まで美濃焼やタイルが有名だということは知っていたけど、どういうところがすごいのか、どう作られているのかは知りませんでした。長い歴史があることなどを知ることができて、とても楽しかったです。(小6)

- ・陶器やタイルは、いろいろな人たちが協力して作っていることを知りました。また美濃焼の原料の土は最初は湖だった所から作られたと知りびっくりしました。



(小4)

- ・暑い日でしたが、鉾山見学がバスからと聞き、安心しました。(小3保護者)
- ・陶器やタイルが捨てられてからも、また焼いて直すことができるかと初めて知りました。この講座に参加して、大好きだった多治見のことがもっと好きになりました。また参加したいです。(小3)
- ・観光バスで見学できるとは驚きました。今回1人の参加で、出発前は不安から顔が引きつっていました。「4ヶ所も見学させてもらったよ!」とお土産を見せながら、楽しそうに話してくれほっと一安心です。多治見の自慢できる所や陶器を、身近なものとして学ぶことができる機会は本当にありがたいです。大きなバスに乗ることで、社会見学気分も味わえた講座になりました。(小2保護者)
- ・この度は講座を開講していただき、ありがとうございました。帰宅後には、見学で得た情報等をわくわくしながら話してくれました。普段学校ではなかなか学ぶことのできない内容で、大変貴重な機会をいただいたと感じました。ありがとうございました。(小2保護者)

- ・すごく楽しそうに講座から帰ってきましたので参加してよかったです。地場産業であるやきものを、土のところから見学できたのは、よい経験



になりました。子どもの「やきものをもっと知りたい」という言葉が聞けてとてもうれしいです。(小2保護者)

- ・陶磁器の力は偉大だと思いました。「人と人との関わりが陶器で深まりそうだ」と思いました。(小5)

第6期 多治見の歴史探偵になろう② (10/12)
700年前にタイムトラベル～虎渓山永保寺～

①開山堂・観音堂

- ・娘は、初めて耳にした「夢想国師」という名前の響きを不思議に思い「どんな漢字で書くのですか?」と質問したようです。中学生ボランティアの方が、説明してくださったのですがまだ習っていない漢字なのでイメージしづらかったようです。すると、すぐさま先生が、漢字で印字された紙を見せて説明してくださったそうで「理解が深まった」と言っていました。「学習するためのサポート体制が整っているのだな」と感じました。(小3保護者)



②坐禅

- ・「なぜかわからないけど気持ちよかった」と言っていたので、次は家族で体験したいです。(小4保護者)

③まとめ

- ・ボランティアのお兄さんお姉さんに大変よくしていただき、ありがとうございました。(小3保護者)
- ・多治見に生まれて育っているの、故郷の歴史を専門の方に教えていただけて勉強になりました。(中1保護者)

④中学生ボランティアより

○講座に参加して、どうでしたか?

A よかった 100%

○多治見はよい所だと思いませんか?

A 思った 100%

○多治見がもっとよくなるといいと思いませんか?

A 思った 100%

理由

- ・国宝が多治見市にある。
- ・グループの子が熱心に質問していた。このように積極的に知ろうとする姿があれば、いろいろな人に広がっていくのではないかな。
- 自分も「わがまち多治見」のために何かしたいと思いませんか。
A 思った 100%
- ・国宝を大勢の人に教える。
- ・活性化するように、挨拶や清掃活動を行う。
- ・ボランティアに参加して、多治見に貢献したい。

- ・他校の人と仲よくなり、自分の知らないことを学べて楽しかったです。700年前の建造物を大切に大切に守っていることは、文化を堪能することができるのでよいことだと思います。また、機会があれば参加したいです。(中2)

第7期 「清流の国ぎふ」文化祭2024
文化財保護センタースピンオフ企画
「小木棒の手」体験(10/26)

まとめ

- ・自分でもできたという達成感がありました。楽しかったです。(小1)
- ・難しかったけど、知らないことを学べて楽しかったです。(小2)
- ・小木棒の手を今回初めて見て、「かっこいいな」と思いました。体験してみて、手足の動きが難しかったけど楽しかったです。(中3)
- ・参加して思ったことは、練習はとても難しかったけれど、慣れると楽しかったです。発表している時に、「神さまが見ている」と思って真剣にやりました。楽しかったのでまたやりたいです。(小4)



発表している時に、「神さまが見ている」と思って真剣にやりました。楽しかったのでまたやりたいです。

(小4)

- ・知られざる伝統を知ることができたので、ありがとうございます。小木棒の手を、年に数回学べると嬉しいです。(小5)



- ・伝統芸能に触れることができる、貴重な経験でした。(小1保護者)
- ・なかなかできない体験を身近な所で行っていただきありがとうございます。帰宅してから、たくさん体験のことを話してくれました。この企画が無ければ知らなかった「小木棒の手」を忘れることはないと思います。(小3保護者)
- ・棒や木刀を使った体験のため、参加には不安がりましたが、安全面で様々な配慮をしてくださりました。おかげで安心して参加することができました。みんなと同じように体験に参加し、楽しかったようです。ありがとうございました。(小2保護者)



おかげで安心して参加することができました。みんなと同じように体験に参加し、楽しかったようです。ありがとうございました。

(小2保護者)

「通じた!」「分かり合えた!」笑顔輝く英語授業を求めて

多治見市教育研究所 英語教育コーディネーター 岡田 海保

4月より、「英語教育コーディネーター」として、市内小・中学校の英語の授業改善サポートをしています。

ミッションは、先生方とともに、学習指導要領の目指す授業の在り方について考え、工夫することを通して、多治見市の児童生徒の英語力をアップすることです。11月初旬時点で、小学校のべ28授業、中学校のべ42授業を参観させていただきました。

小学校では、平成23年度に「外国語活動」として第5・6学年の英語学習が始まりました。それから14年経ち、令和2年度には第3学年への早期化、第5・6学年での教科化と変遷を重ねながら今に至ります。初めて英語に触れる中学年児童の目の輝きや元気な声、その素地の上に立ち、新たな表現をどんどん吸収していく高学年児童。その陰では、子ども達の興味関心を引き出すために、日々、教科書にプラスαの工夫を加えて楽しい活動を創り出す先生方のバイタリティを感じます。

中学校では、語彙も文法もさらに高度化した学習指導要領のもと、多くの指導方法の中から自分の授業スタイルを

模索する先生方の姿に、私自身も日々インスパイアされています。今年度の研究授業では、単元末の総括的な授業ではなく、教科書を活用した、ごく日常の授業でいかに生徒に力をつけるか、を主眼として取り組んでいます。

英語は、言葉を学ぶ教科です。そして、そのことを通じて、「どうしたら、話し手として、自分の言いたいことをより良く伝えることができるか」「どうしたら、聞き手として、より良く相手の言いたいことを理解することができるか」、すなわち、より良く相手と分かり合う術を学ぶ教科でもあります。それは、英語教師として私自身が心に置いていたことの中核でもあります。英語の授業の中で児童生徒が見せてくれる「分かり合えた!」「通じ合えた!」という輝く笑顔と、それを見る先生方のさらに輝く笑顔。そんな素敵な笑顔を求めて、微力ですが、そのお手伝いをしていきたいと思っています。



